

# 沖縄県病害虫防技術センター ～害虫の防除適期予測～

## サトウキビに被害をもたらすカンシャコバナネナガカメムシの防除時期の予測に使い、より効果的な防除を促しました。

関係機関長 殿

病 防 第1010号  
平成30年3月23日  
沖縄県病害虫防除技術センター

病害虫発生予測技術情報について  
平成29年度 病害虫発生予測技術情報 第2号を発表しましたので送付します。  
カンシャコバナネナガカメムシ(ガイダー)の防除適期について

カンシャコバナネナガカメムシは幼虫・成虫ともに葉鞘や未展開葉部に潜み、集団で吸汁加害する。成虫の翅の長さには変異があり、翅が長いタイプの長翅型は夏から秋にかけて移動分散する。1茎当たり虫数が20頭を超えるほ場や、一斉防除を行う地域では、防除適期を失しないよう注意する。

1 発生状況および防除適期予想日

(1) 沖縄本島中南部における3月中旬の調査の結果、茎当たり虫数は3.1頭(前年0.6頭、平成2.1頭)と平成並であった。齢期は3月9日時点で2.0齢であった。

(2) 宮古島における3月中旬の調査の結果、茎当たり虫数は10頭(前年0.1頭、平成14.6頭)と平成並であった。

(3) 石垣島における3月中旬の調査の結果、茎当たり虫数は0.6頭(前年1.3頭、平成20.3頭)と平成よりやや少なかった。齢期は3月12日時点で1.0齢であった。

(4) 防除適期予想日(3月20日現在)

地 域	防除適期	2.5 齢期予想日		
		本年	平成	平成差
沖縄本島及び周辺諸島*	4月14日～4月29日	4月21日	4月23日	2日早い
南・北大東島*	4月10日～4月25日	4月17日	4月19日	2日早い
宮古島*	4月8日～4月23日	4月15日	4月14日	1日遅い
多良間島*	4月5日～4月20日	4月12日	4月8日	4日遅い
石垣島及び周辺離島*	4月1日～4月16日	4月8日	4月8日	平成並
与那国島*	4月4日～4月19日	4月11日	4月10日	1日遅い

\*1 2/1～3/18は観測値、3/19～4/13は1ヶ月予測値、4/14からは平成値を使用(3月19日沖縄気象台発表)。  
\*2 2/1～3/19は観測値、3/20～4/2は早期警戒情報予測値(1週目と2週目の予測)、4/3からは平成値を使用(3月20日沖縄気象台発表)。

2 生態

(1) 幼虫・成虫ともに葉鞘や鞘頂部に潜み集団で吸汁加害する。  
(2) 年2～3回発生し、成虫なしの卵で越冬する。  
(3) 成虫には長翅型と短翅型がある。長翅型は高温・高密度で出現し、移動分散を行う。  
(4) 前年の秋、冬に産み付けられた卵は3～4月にふ化し、第1世代目となる。  
(5) おおむね4～6月が第1世代、7～8月が第2世代、9～10月に第3世代が発生する。

3 防除上注意すべき事項

(1) この時期に茎当たり虫数が20頭を超えるほ場は防除を行うことが望ましい。  
(2) 薬剤防除の際は、周辺住宅地や隣家ほ場に薬剤が飛散しないよう風向きに注意する。

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合せ下さい★  
TEL: (本庁)098-886-3880、(宮古支庁)0980-73-2634、(八重山支庁)0980-82-4933

再予報データも用いて、シミュレーションによる精度調査も実施した結果、以下のことがわかりました。

- ・予測情報を活用することで防除時期の**予測精度が向上**することを確認できた。
- ・予測精度も踏まえて、**よりの確な情報発信時期**を見極めることも期待できる。
- ・地球温暖化による近年の傾向もふまえると、**平年値**を用いるよりも、**最新の予測値**を用いることで、**情報改善**ができた。



農業担当者  
コメント

- ・農業気象学会全国大会(H30.3)で発表  
気象予測値を用いたカンシャコバナネナガカメムシの防除適期予測の精度検証  
萱場 互起(気象庁)、田村 弘人(沖縄気象台)、永山 敦士、真武 信一(沖縄県)
- ・月刊植物防疫 平成31年3月頃 掲載予定  
「気温予測値を用いた病害虫防除適期予測の精度検証」  
～カンシャコバナネナガカメムシにおける精度検証～

平成30年3月23日

カンシャコバナネナガカメムシ(ガイダー)の防除適期について 沖縄県ホームページ